

2023年度第2四半期

不二サッシグループ 決算説明資料

2023年11月7日

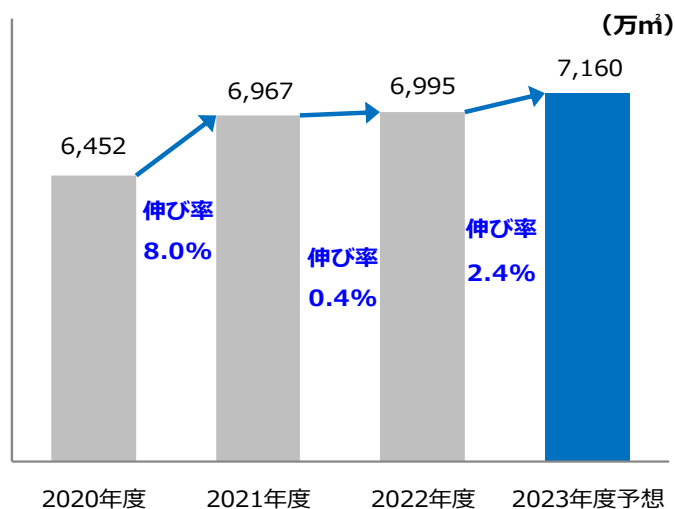
不二サッシ株式会社

I . 2023年度 第2四半期決算の概要

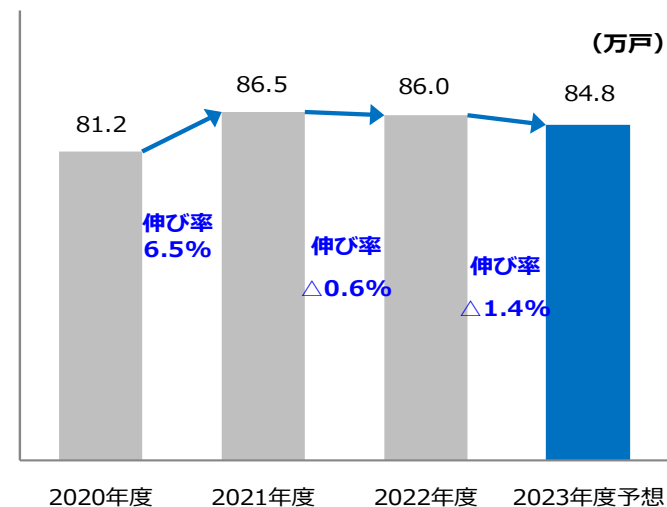
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 予想
非木造建築物着工床面積(万㎡)	6,452	6,967	6,995	7,160
前年比 (伸び率)	-8.0%	8.0%	0.4%	2.4%
新設住宅着工戸数(万戸)	81.2	86.5	86.0	84.8
前年比 (伸び率)	-8.0%	6.5%	-0.6%	-1.4%

※実績は国土交通省 建築着工統計調査より

非木造建築物着工床面積 (4-3月)



新設住宅着工戸数 (4-3月)



2023年度 第2四半期決算の業績について

【連結】

(百万円)

	2022年度上期		2023年度上期			
	実績		実績		前年同期比	
		売上比		売上比	増減額	%
売上高	45,269		46,164		895	102.0
売上原価	39,991	88.3	40,311	87.3	319	100.8
売上総利益	5,277	11.7	5,853	12.7	575	110.9
販管費	6,464	14.3	6,625	14.4	161	102.5
営業利益	-1,186	-2.6	-772	-1.7	414	-
経常利益	-1,020	-2.3	-623	-1.4	397	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-1,276	-2.8	-758	-1.6	518	-

セグメント別 売上高・営業利益

【連結】

(百万円)

	売上高			営業利益		
	2022年度 上期実績	2023年度		2022年度 上期実績	2023年度	
		上期実績	対前年比		上期実績	対前年比
建 材 事 業	32,205	33,082	102.7% 877	-569	-199	- 370
形 材 外 販 事 業	10,711	10,308	96.2% △ 402	-170	23	- 193
環 境 事 業	1,028	1,222	118.8% 193	58	33	57.0% △ 25
物 流 事 業	1,193	1,408	118.1% 215	151	166	110.3% 14
そ の 他 事 業	131	141	108.1% 10	75	83	110.9% 8
(消去又は全社)	-	-	-	(732)	(880)	△ 147
合 計	45,269	46,164	102.0% 895	-1,186	-772	- 414

(注)2022年3月期の期首より「収益認識基準に関する会計基準」等を適用しております。

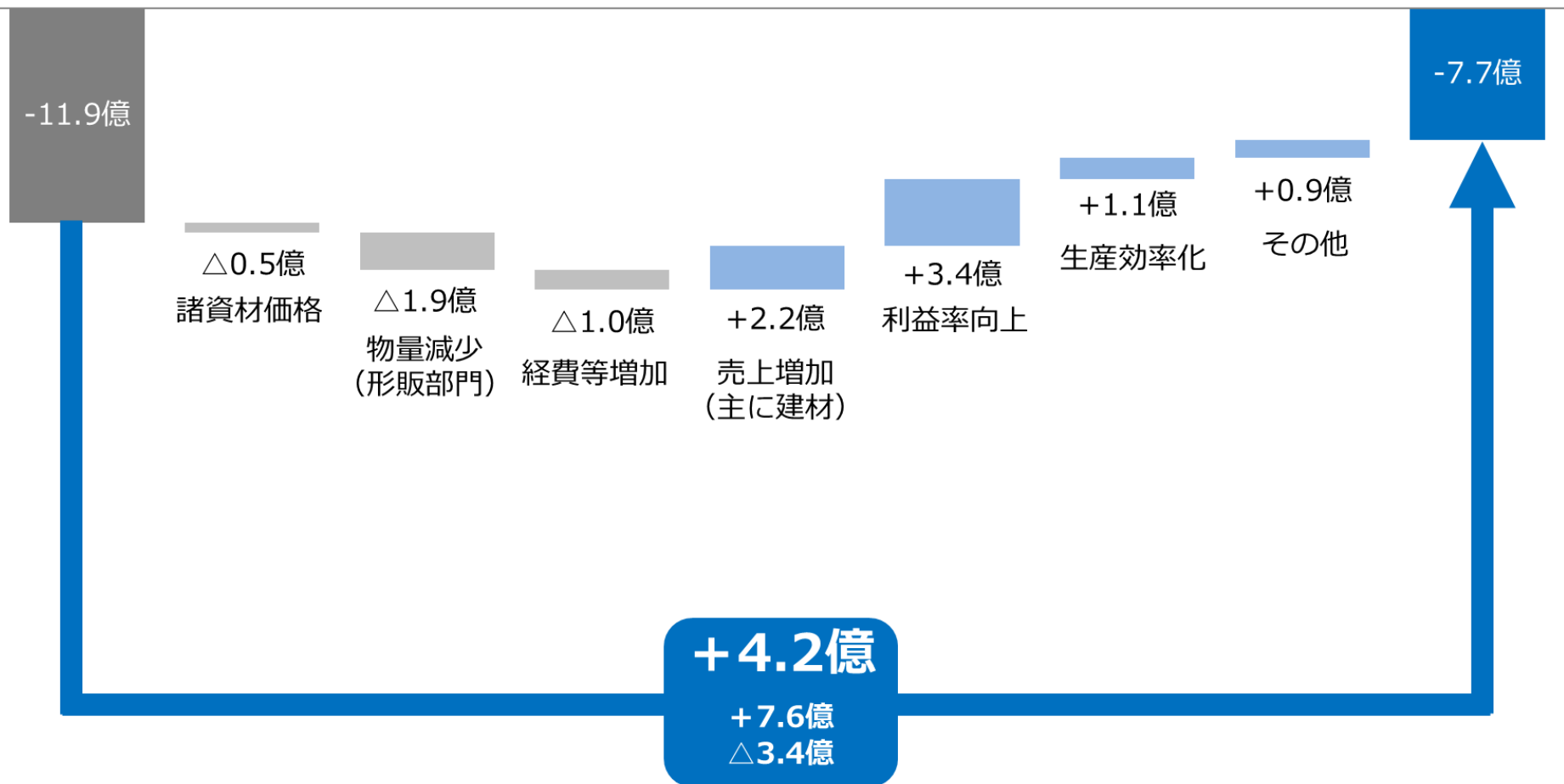
営業損益増減分析（前年比・要因別）

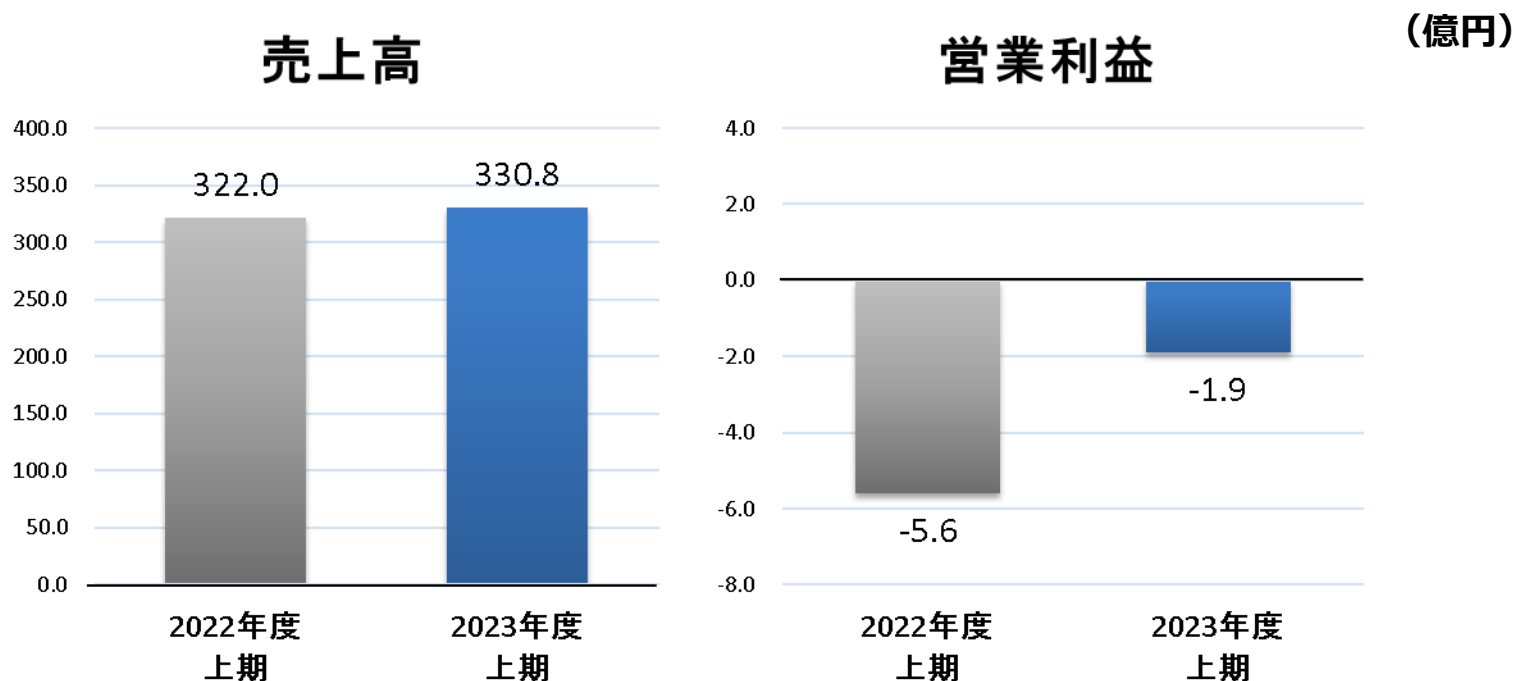
2022年度

上期

2023年度

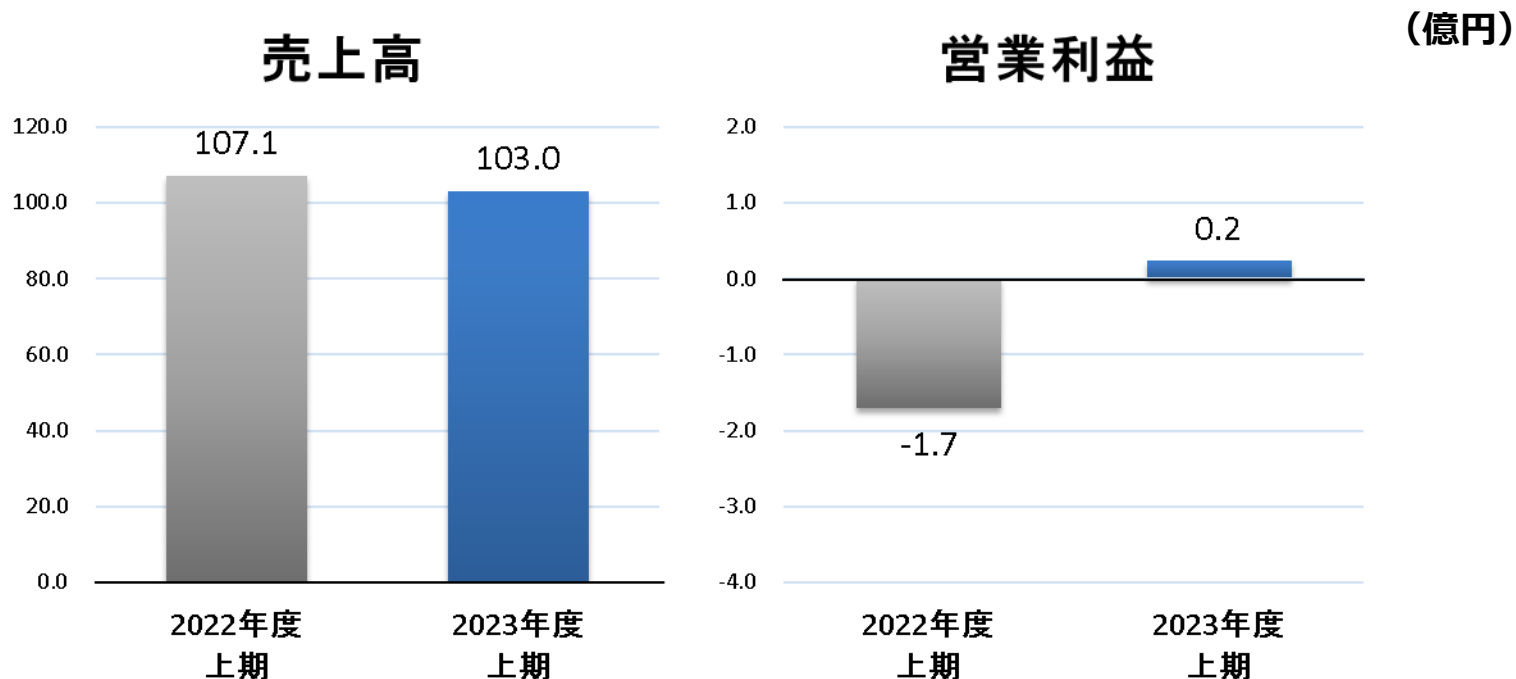
上期





■ 売上高・営業利益

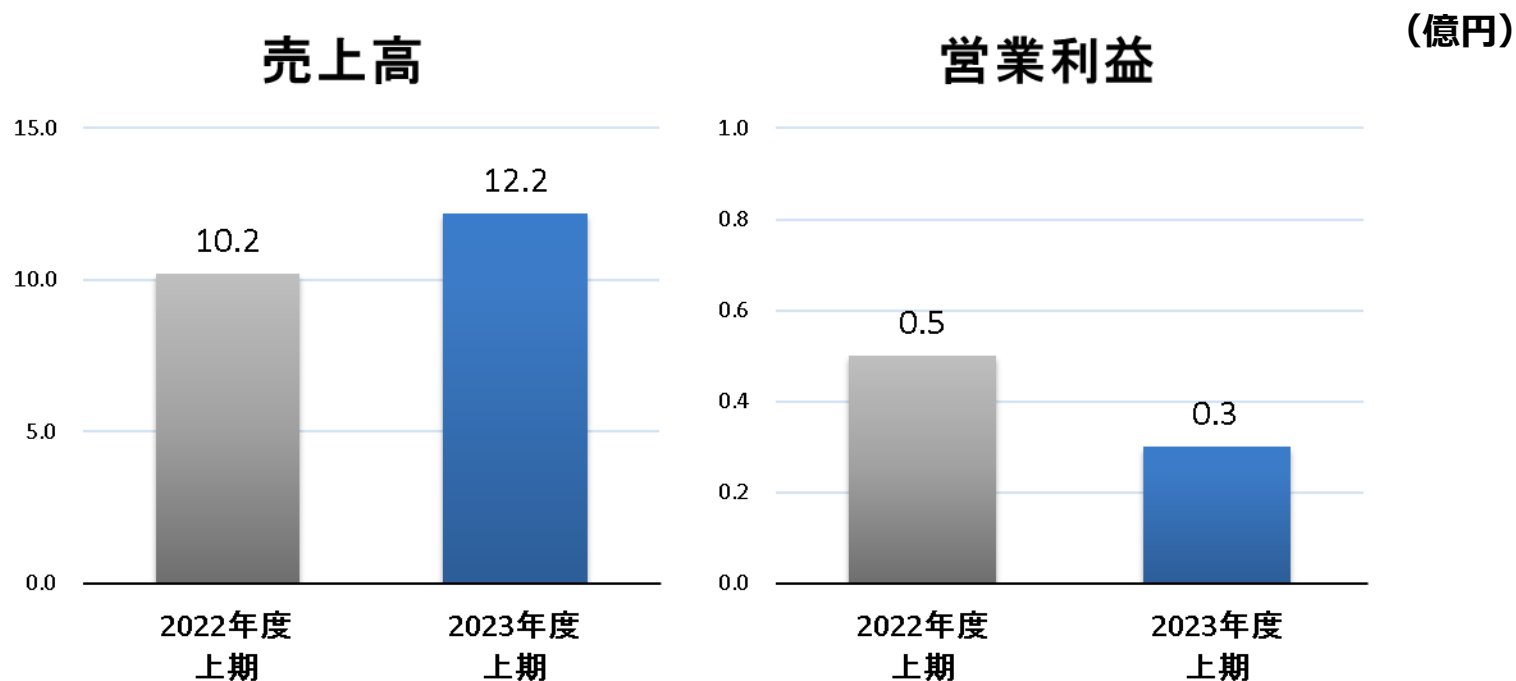
プロセス管理の徹底等の営業強化により増収。利益面ではアルミ地金価格が依然として高い水準にあるものの、前年比で下落したことが製造原価低減の要因となった。また、価格改定の浸透の影響もあり増益。



■ 売上高・営業利益

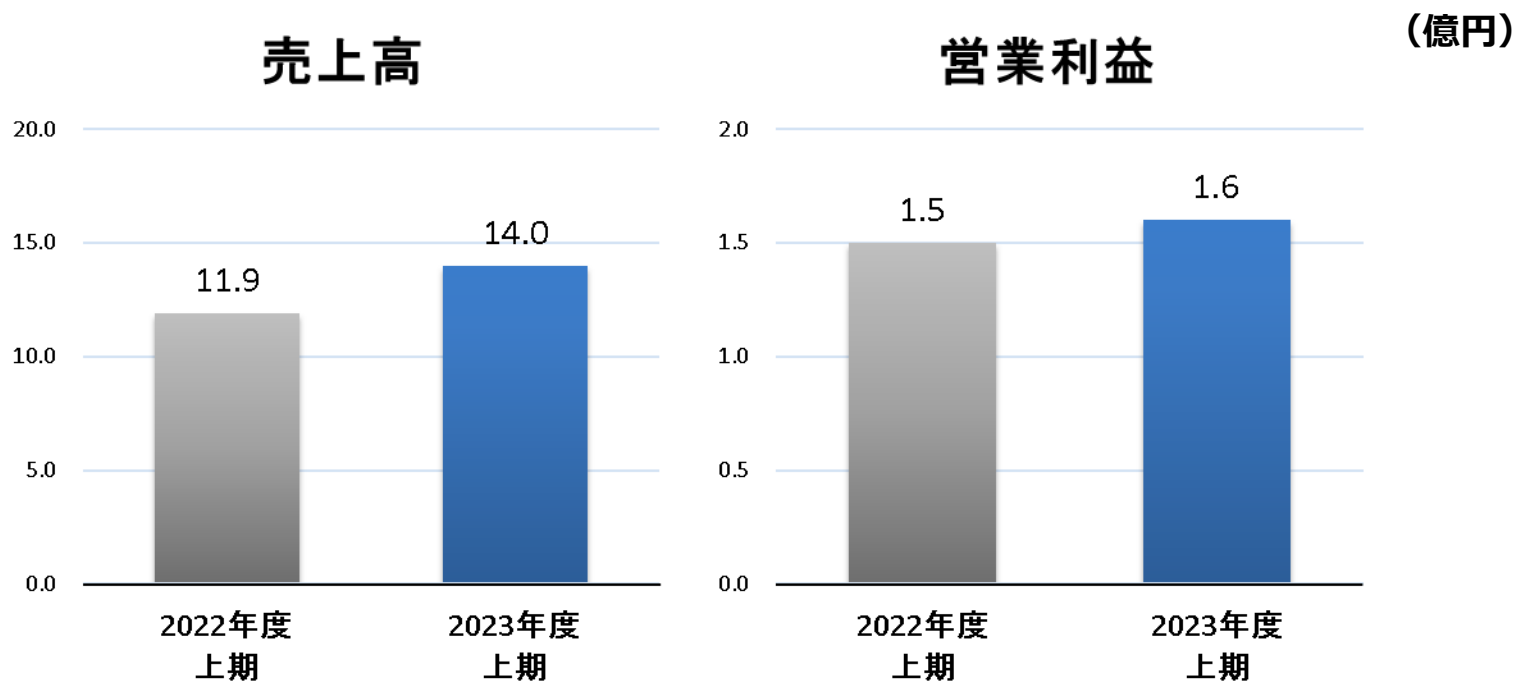
物量の減少に加え、アルミ地金市況に連動する売上減少により減収。

利益面では諸資材価格の高騰に加え、半導体市場の落ち込みにより精密加工品は苦戦するも、前年度からの不採算取引の改善、アルミ加工品の売上・利益率の向上、運送単価の改善、歩留まりの向上等が効果を発揮し、黒字化を達成。



■ 売上高・営業利益

薬剤部門は販売価格の上昇に伴い売上は増加したが、仕入れ原価の高騰により利益率が低下、メンテナンス工事に注力したことで売上・利益は確保したものの新規プラント工事の減少に伴い、全体では増収減益。



■ 売上高・営業利益

サッシ物流の減少に加え、一般物流においても高水準の燃料費、油脂費、諸資材費、更には傭車料も上昇基調にあり、依然として厳しい事業環境下にあるが、EVバッテリー原料の輸入一貫作業の継続受注とソーラーパネル一貫物流、営業倉庫での受注拡大、配車や保管・荷役効率の向上に取り組み増収増益。

連結貸借対照表要旨

(百万円)

	2023年 3月末	2023年 9月末	前期末比
現金及び預金	14,769	17,232	2,462
売上債権	28,038	25,062	△ 2,976
たな卸し資産	7,997	8,257	259
貸倒引当金	-712	-749	△ 37
その他	1,695	2,139	443
流動資産計	51,789	51,941	151
建物及び構築物	6,892	7,855	963
土地	13,330	13,604	274
その他有形固定資産	6,205	5,651	△ 554
投資有価証券	3,108	3,414	305
貸倒引当金	-860	-861	0
その他固定資産	6,783	6,589	△ 193
固定資産計	35,459	36,254	794
資産計	87,249	88,195	946

	2023年 3月末	2023年 9月末	前期末比
仕入債務	21,083	18,550	△ 2,532
短期借入金・社債	14,851	17,502	2,651
その他流動負債	5,873	5,963	90
長期借入金・社債	9,694	10,976	1,282
その他固定負債	17,117	17,105	△ 11
負債計	68,618	70,099	1,480
株主資本	16,423	15,492	△ 930
その他の包括利益累計額	2,014	2,403	389
非支配株主持分	193	200	7
純資産計	18,630	18,096	△ 533
負債・純資産計	87,249	88,195	946

(百万円)

	2023年3月末	2023年9月末	前期末比
利益剰余金	13,907	12,976	△930
自己資本	18,437	17,896	△541
自己資本比率 (%)	21.1	20.3	△0.8
有利子負債	24,813	29,242	4,429
1株あたり純資産 (円)	146.11	141.82	△4.19

	2022年9月末	2023年9月末	前年同期比
税金等調整前四半期純損失	-1,199	-708	491
営業活動によるキャッシュ・フロー	673	857	183
投資活動によるキャッシュ・フロー	-855	-1,784	△928
財務活動によるキャッシュ・フロー	838	3,279	2,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,303	15,913	1,610

受注高・受注残高の推移（ビル建材）

（百万円）

	2020年度上期	2021年度上期	2022年度上期	2023年度上期	前年同期比
受注高	28,939	33,158	35,467	32,511	△2,955
受注残高	63,248	63,622	69,035	77,585	8,549

設備投資及び減価償却費の推移

（百万円）

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度上期
設備投資額	2,946	2,224	1,688	3,765	1,558
研究開発費	1,732	1,505	1,303	1,312	623
減価償却費	2,206	2,293	2,203	1,895	984

従業員の推移

（人）

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度上期
従業員数	3,078	3,055	2,970	2,887	2,955
増 減	+76	△23	△85	△83	+68

Ⅱ．2023年度の業績予想

2023年度 連結通期業績予想について

【連結】

(百万円)

	2022年度		2023年度			
	実績		予想		前年同期比	
		売上比		売上比	増減額	%
売上高	101,700		102,000		299	100.3
営業利益	735	0.7	1,000	1.0	264	135.9
経常利益	960	0.9	880	0.9	△80	91.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	338	0.3	940	0.9	601	277.7

(注) 2022年度3月期の期首より「収益認識基準に関する会計基準」等を適用しております。

Ⅲ. トピックス

サステナビリティ委員会の設置

当社グループでは現中期経営計画において、『サステナブルな社会実現への貢献・選ばれる企業グループへ』をメインメッセージと位置づけサステナブル経営に取り組んでおり、環境問題などSDGs／ESGを含むサステナビリティに関わる取り組みを専門に行う、サステナビリティ推進室を設置しております。

この度、さらに当社グループのサステナビリティへの取り組みの強化・推進を目指し、2023年10月1日付で取締役会直轄下の「サステナビリティ委員会」を設置いたしました。

【委員会の役割】

当社グループのサステナビリティに関する基本方針の策定、重要課題の特定、計画・目標の策定及び推進・管理等を行います。

【委員会の構成】

本委員会は代表取締役社長を委員長、代表取締役専務執行役員を副委員長とし、取締役、監査役、執行役員、不二ライトメタル(株)社長等で構成されます。

「サステナビリティレポート2023」を発行

2023年9月22日

当社は、従来の「CSR報告書」を「サステナビリティレポート」に改称するとともに内容の拡充を図りました。当社の持続的成長を説明するロジックとして「価値創造プロセス」を追加し、特集として「アルミサッシの製造に係るバリューチェーン」を紹介、開発からリサイクルまで9項目に分類し、それぞれの重点課題を示しています。



当社では、2024年までの3カ年の中期経営計画で掲げた「脱炭素経営の実践」に取り組んでおり、国際認証「SBT（科学と整合する温暖化ガス削減目標）」を取得する予定です。

そして、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に基づく気候変動関連財務情報開示など、これまでより一段階レベルアップしたサステナブル経営を推進してまいります。

窓から夢をひろげていきます
不二サッシ